

「小畠川春の賑わい創出事業」企画運営業務 仕様書

1 委託業務名

「小畠川春の賑わい創出事業」企画運営業務

2 背景・目的

洛西地域は、小畠川沿いに約 800 本の桜が咲き誇るほか、西行桜（勝持寺）、千眼桜（大原野神社）、業平桜（十輪寺）など、歴史的背景を持つ桜の名所が数多く存在し、市内有数の桜の名所として知られている。しかしながら、近年は人口減少と少子高齢化が深刻化し、若年・壮年層の地域活性化を担う人材不足が課題となっている。加えて、魅力的な歴史・文化資源が豊富にあるにもかかわらず、それらが地域住民や観光客に十分に認知されていないという現状がある。

これらの課題を踏まえ、京都市では洛西ニュータウンの再生と洛西地域全体の活性化を目指し、全庁を挙げて「洛西“SAIKO”（さあ、いこう）プロジェクト」を推進しており、令和 5 年 11 月には、6 分野 55 アクションからなる実行策を策定し、地域住民が様々な魅力を享受できる地域づくりを目指した取り組みを進めている。

本業務は、このプロジェクトの「洛西 NT タウンセンターの魅力アップ」に貢献するため、「第 31 回らくさいさくら祭 2026※」と連携し、小畠川沿いにおいて、水辺の舞台を利用した吹奏楽祭、及び桜の夜間ライトアップを実施することにより、春の賑わいを創出し、洛西地域の魅力を広く発信し、若年層の交流人口拡大、地域住民の郷土愛の醸成、ひいては定住人口の増加と市内観光地の分散化を推進することを目的とするものである。

※ 参考：「第 31 回らくさいさくら祭 2026」開催日時（予定）

令和 8 年 3 月 28 日（土）10 時～16 時、17 時～20 時

令和 8 年 3 月 29 日（日）10 時～16 時

3 業務の内容

以下のとおり、「小畠川春の賑わい創出事業」の企画運営を行うこと。

(1) 水辺の舞台を利用した吹奏楽祭

洛西地域周辺の中学校又は高校の吹奏楽部を中心とした吹奏楽祭を開催するにあたり、以下の業務を行うこと。

ア 出演校への依頼及び事前の連絡調整を行い、出演者及び来場者が安全に吹奏楽祭を楽しめるよう当日の運営を行うこと。

イ 小畠川中央公園の水辺の舞台において、音楽祭を実施するための会場設営を行うこと。会場サイズは【別紙】のとおり。

ウ ソロ演奏（最大 2 名）及び出演校の生徒が MC を行うための音響設備（マイク、スピーカー等）を用意すること。

なお、電源については、ポータブル電源を本市が用意する。

エ 出演校がスムーズに入れ替わるよう、タイムテーブルを作成すること。

- オ ステージ上の別途指示する場所に指揮台（1.8m×1.8m）を設置すること。
- カ ステージ周辺に楽器やケース等が置ける待機場所を2箇所（1箇所当たり2テント）設営すること。待機場所のテントは2.7m×3.6m程度とし、下にジョイントマット、及びブルーシートを敷くこと。
- キ 出演校について、楽器運搬時間等の調整を行うこと。
各種楽器の積み下ろし作業は出演校が協力して行うものとする。
- ク 楽器運搬は2tトラックを1台、及びワンボックスカー等の運搬車両を3台程度準備し、順次に出演校から会場へ楽器を運搬すること。音楽祭終了後も会場から出演校へ楽器を運搬すること。
- ケ 当日の天候により、吹奏楽祭の開催が難しいと判断した場合は、キャンセルに必要な費用を除き、吹奏楽祭にかかる費用は桜のライトアップ、及びライトアップ会場周辺の演出等で使用するものとし、他の企画と連携した企画を提案し、実施すること。

(2) 桜のライトアップ

小畠川沿いの桜並木（別添：ライトアップ箇所図参照）において、音楽の響きと光の演出を融合させ、幻想的な空間を創出し、洛西地域の桜の魅力を発信すること。

- ア ライトアップについては、指定する箇所の桜並木を照らす照明を設置し、幻想的な空間を創出すること。加えて、象徴的なライトアップスポットについては、70W以上の照明を1基以上設置すること。
- イ なお、照明の電源については、既設の電源を使用することなく発電機等を用いて賄うこと。雨天時も点灯できるように雨対策を講じたうえで、照明を設置すること。

(3) ライトアップ会場周辺の演出等

- ア 同日開催の「らくさいさくら祭」に来場されている方々が、ライトアップ開始までの間、誘導エリア（別添：ライトアップ箇所図参照）において、待ち時間を楽しむことのできる空間の創出又は演出を行うこと。
- イ 小畠川夜桜ライトアップ会場が、「らくさいさくら祭」の会場から少し離れているため、誘導エリアにおいて、ライトアップ会場への来場を促すことのできるような導線を創ること。また、会場間の回遊性を向上させる企画を提案し、実施すること。
- ウ 周辺からライトアップ会場へ誘導するために、魅力的な光や音の演出を行うことで、期待感を高める工夫を凝らすこと。
- エ 対岸や外部からでもライトアップしていることが認知でき、足を運ぶような空間を創ること。
- オ 来場者が飲食物を片手に夜桜でお花見を楽しめるようなブースを創ること。

(4) 広報

様々な情報媒体を活用し、本業務及び洛西地域の桜の魅力を広く地域内外へ発信すること。また、「第31回らくさいさくら祭2026」と連携した周知を図り、来場者の増加に努めること。

(5) 開催期間

ア 水辺の舞台を利用した吹奏楽祭

日 にち：令和8年3月28日（土）

時 間 帯：12時～16時のうち1時間程度

イ ライトアップ期間

日 にち：令和8年3月28日（土）～29日（日）の2日間

時 間 帯：17時～20時

(6) 「第31回らくさいさくら祭2026」との連携

洛西さくら祭り実行委員会及び「第31回らくさいさくら祭2026」企画運営業務受託業者と十分に打合せのうえ、「第31回らくさいさくら祭2026」と連携した企画とすること。

(7) 運営体制等の確保

業務を実施するために必要な知識と経験を有する人材を確保し、確実に業務遂行できる体制を備えること。

(8) 業務の取りまとめ

業務終了後、収支決算、実施内容、写真等を含む実績報告書を作成し、報告すること。

(9) その他

ア 原則として、本業務に必要な物品等は受託業者が用意すること。

イ 契約後、速やかにスケジュール等の詳細について協議すること。また、事業の進捗等について、適宜、報告・協議を行うこと。

ウ 開催期間終了後は、速やかに使用物品を撤去し、原状回復すること。また、「第31回らくさいさくら祭2026」企画運営業務受託業者とも連携して、指定する箇所周辺に来場者のゴミが残されていないか確認し、排出すること。

エ 必要に応じて西京区役所洛西支所と協議し、事前に承認を得ること。

オ 上記のほか、独自企画があれば実施すること。

4 提出書類

受託者は、本業務完了後に以下の書類を電子データで西京区役所洛西支所に提出すること。ただし、第1号の実績報告書は書面でも提出すること。

(1) 実績報告書（収支決算書を含む。）

(2) 吹奏楽祭、及びライトアップの様子を収めた画像データ

(3) その他西京区役所洛西支所が求める資料

5 版権等について

(1) 本業務の実施により、得られた成果物の著作権、版権等の一切の権利は、全

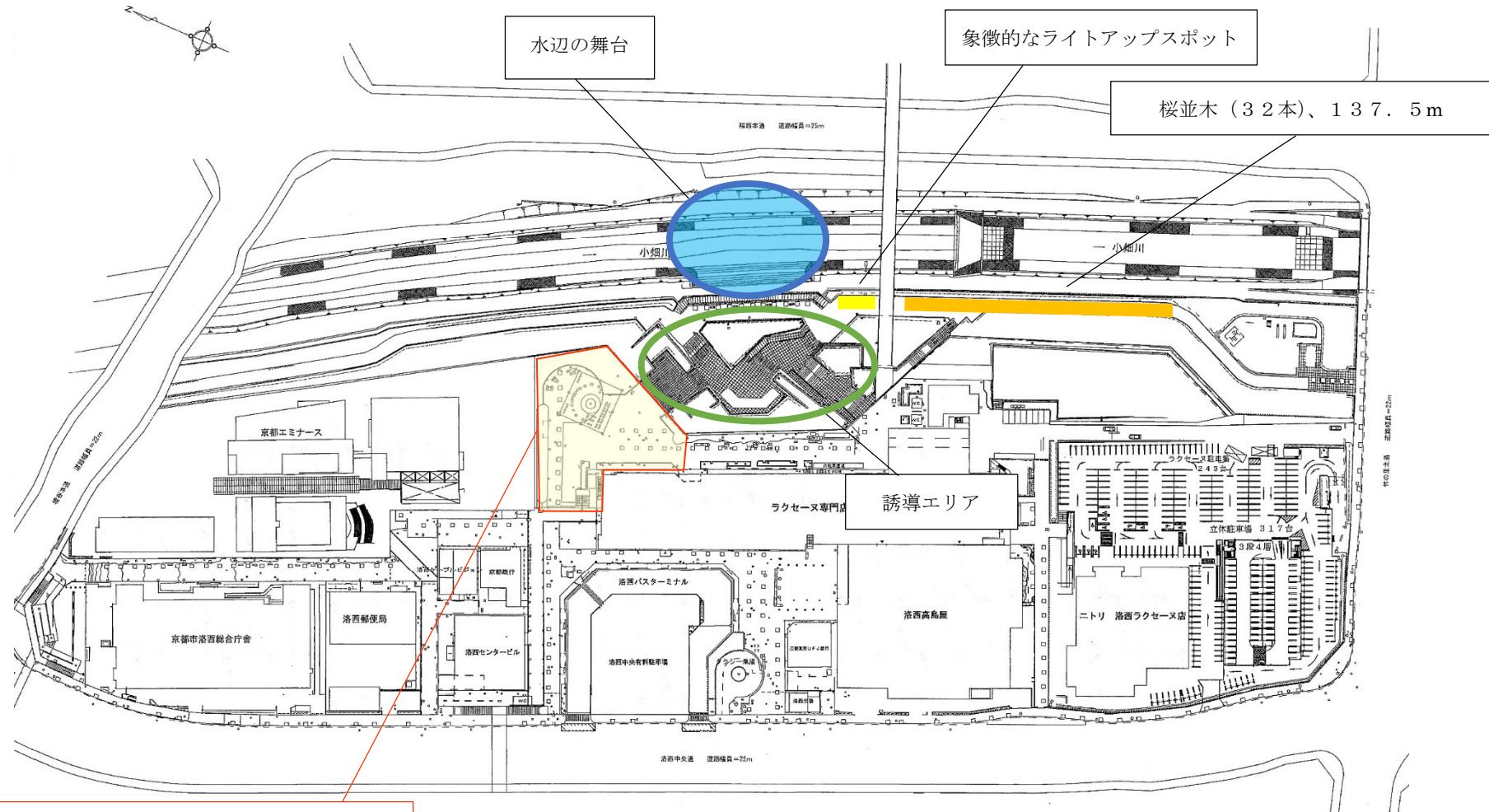
て京都市に帰属する。また、受託者が撮影した写真や作成したデザイン等を他の目的に使用する場合は、事前に西京区役所洛西支所の承認を得ること。

- (2) 成果物及び構成素材に含まれる第三者の個人情報及び著作権その他の権利については、受託者が納品前に適切な処理を行うこととし、その経費は委託料に含むものとする。

6 その他

上記のほか、本仕様書に明示されていない事項について、業務の性格上必要と認められるものは、西京区役所洛西支所と受託者とで協議を行い決定する。

【事業箇所図】



「第31回らくさいさくら祭2026」会場
夜間の使用箇所（予定）

洛西ニュータウン タウンセンター全体配置図

■ 桜並木を照明で照らし、幻想的な空間を創出

■ 象徴的なライトアップスポットは、70W以上の照明を
1基以上設置